

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	年齢と共に下肢の筋力が低下し、低下することでその人らしく行き行きとした生活が送れなくなってしまう。	下肢筋力の維持・向上に努める	・昼食後に施設の周りを散歩したり(月～金)、近くの公園まで散歩に出かける(土・日) ・1階ホールでの体操やレク、催し物への参加終了後、階段を使い4階まで上がっていただく。	3ヶ月
2	26	ご利用者がよりよく暮らすための課題分析と、ご利用者やご家族の思いを知る為に、センター方式を導入していく。	センター方式の活用	・各担当が、受け持ちご利用者やご家族に対してセンター方式を活用する事で、ご利用者やご家族の思いを知り、その方がよりよく暮らすための課題を分析し、介護計画に反映させていく。	6ヶ月
3	35	災害時の地域との協力体制について、なかなか地域住民からの理解が得られない。	施設への理解・協力体制の構築	・施設を理解していただく為に、地域住民の方々を施設の行事にお呼びしたり、運営推進会議に出席していただき、消防署の協力を得ながら、災害時の地域の連携の必要性を呼びかけ、理解を得る。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。